

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 056	提案機関名 公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会
要望問題名 アワビの筋萎縮症の防疫	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県栽培漁業協会の主要種苗生産対象種であるアワビ類の生産が近年、筋萎縮症によって生産数が著しく減産し、経営を圧迫している。 施設整備にあたって、筋萎縮症の実態把握とその防疫対策が喫緊の課題となっている。 以下の課題を解明し、施設整備にあたっての防疫対策を示してもらいたい。 (1) アワビの筋萎縮症ウイルスとアワビの死亡との関係 (2) 筋萎縮症ウイルスの感染ルートとその防除法 (3) アワビ飼育海中のウイルス季節変化 (4) 種苗生産施設での感染予防対策(紫外線照射海水の紫外線力価と飼育排水の除菌)	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻魚病学研究室 伊藤准教授との共同研究	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 水産動物保健対策推進事業		
対応の内容等 筋萎縮症ウイルスのPCR検査法を活用して、現在、貴協会の飼育担当者と情報を共有しながら、魚病診断をベースに研究を進めております。 (1) アワビの死亡の発生とともに筋萎縮症ウイルスが検出されることが分かってきました。同ウイルスがアワビの死亡と直接の因果関係があると考えておりますが、その仮説を実証していく必要があります。貴協会と協力して進めていきたいと考えております。 (2) 今後、親貝、ふ化幼生、波板などの筋萎縮症ウイルス検出を試み、感染ルートの解明や防除法の開発を進めて参ります。 (3) 海水中の筋萎縮症ウイルスの検出方法については、現在のところ開発されていないため、海水中のウイルスの存在を調べることができません。現在、東大の魚病学研究室の伊藤准教授が検出方法について検討しております。同検出方法が開発されれば、ウイルスの季節変化や同疾病の効果的な消毒方法の開発が進むものと考えられます。 (4) (3)の海水中のウイルスの検出方法が開発されれば、紫外線照射海水の紫外線力価とウイルスの不活化との関係が明らかとなり、種苗生産施設での感染予防対策が進むものと考えております。 これらの課題につきましては伊藤准教授と連携して取り組んで参ります。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			